

● 精度

日差：-20～+40秒

※使用環境(温度・湿度他)により、精度の範囲を超えることがあります。

● 持続時間

約40時間

● 衝撃

機械式時計は非常にデリケートにできています。衝撃などで、どこか1つでも影響を受けると大きな障害となり、時計の止まり・遅れをはじめとする故障・損傷の原因になりますので、ご注意ください。

● 磁気

携帯電話やパソコンなど、強い磁気が発生する可能性のあるものの近くに時計を置かないでください。磁気を帯びることによって時計の精度に狂いが生じます。

● 温度・湿度

直射日光が当たる場所や高温多湿になる場所、寒冷地、その他、極端な気象条件下での長時間のご使用、放置は故障の原因になりますので、お避けください。

機械式時計とは

機械式時計とは、ゼンマイで動く昔ながらの時計です。

その歴史は長く、少しずつ小型化されて今の腕時計へと進化してきました。クォーツとは異なり、ゼンマイを巻かないと2日程度で止まってしまいます。精度や耐久性こそクォーツには及びませんが、機械式時計を所有することで感じる歴史ロマンや愛着を弊社製品で是非、ご堪能ください。

不意の止まり・遅れを防ぐために

この時計は、腕の動きに合わせてローターが回転してゼンマイを巻き上げます。また、リュウズ操作によりゼンマイを巻き上げることができます。ゼンマイが十分に巻き上がった状態で、約40時間作動します。巻き上げが不足すると、遅れや進みの原因になりますので、1日8時間以上携帯することをおすすめします。8時間以上携帯していても精度が安定しない場合は、ゼンマイの巻き上げ不足が考えられますので、下記の手順でゼンマイを巻き上げてください。

止まっている時計をご使用になる際も同様に、下記の手順でゼンマイを巻き上げてください。

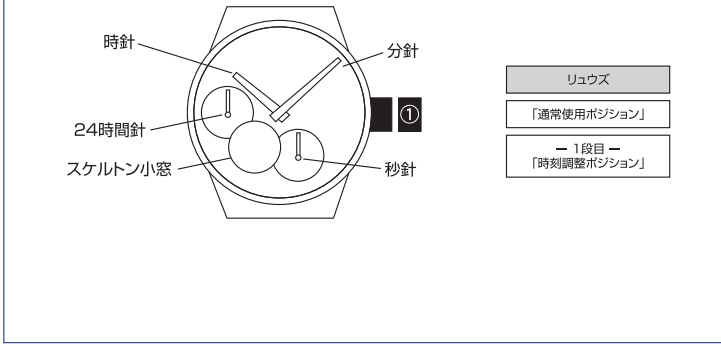
- 1.リュウズが「通常使用ポジション」にあることを確認します。
- 2.ゼンマイの巻き上がる手ごたえを確認しながら、リュウズを時計回りに30回～40回ゆっくり巻き上げます。

👉 アドバイス

ゼンマイが完全に巻き上がった状態でもリュウズは回転しますが、故障ではありません。

革バンドのお手入れとご使用について

革バンドには自然素材を用いています。磨耗や変形、変色などの経年劣化が生じるため、定期的な交換をおすすめします。水に濡れたり汗をかいた場合は、すぐに乾いた柔らかい布で、擦らずに吸い取るようにして軽く拭き取ってください。湿ったままの状態が続くと、かぶれや染料が腕や衣類を汚す原因になります。ご使用後は、風通しの良い涼しい場所に保管してください。



時刻の合わせ方

- 1.リュウズを1段目、「時刻調整ポジション」まで引いてください。
- 2.リュウズを回し、時刻を合わせてください。
時・分針と24時間針は連動して動きます。午前・午後を間違わないように注意してください。
- 3.リュウズを押し込み、「通常使用ポジション」に戻して完了です。

防水性能について

ご注意!!リュウズ操作をする前に!!

<本体にWATER RESISTANT 3ATM、5ATM表示のあるモデル>

これらの時計は、3気圧防水(日常生活用防水)、5気圧防水(日常生活用強化防水)です。手洗いや洗顔、軽い降雨などで一時的にかかる水滴には耐えられますが、水道からの水を直接当てたり、水泳やダイビングなどでのご使用はお避けください。

<本体にWATER RESISTANT 10ATMと表示のあるモデル>

これらの時計は、10気圧防水(日常生活用強化防水)です。水仕事などには耐えられますが、水泳やダイビングなどでは浸水する可能性があります。そのような場合は、保証期間内でも有償修理となります。

時計内部には多少の湿気があり、外気が時計内部より低い温度の時は、ガラスの内側がかくもることがあります。一時的なくもりの場合は支障ありませんが、長時間くもりが消えない場合はそのまま放置せず、ご購入店または弊社サービスセンターへご相談ください。濡れた手、または水中でのリュウズ操作による浸水や防水性能を超えた水圧による浸水は、保証期間内の場合でも有償修理となります。



注意

防水性能は、あくまでも目安です。表示してある状況下でも振動・運動によって水圧が付加され、耐用気圧を超えることがあります。このような場合は、故障・損傷の原因になりますので、充分にご注意ください。
水中、および時計や手に水分がついた状態でリュウズの操作を行うと、時計内部に水(湿気)が入る原因になります。ご使用の際は、リュウズが「通常使用ポジション」にあることをご確認ください。リュウズが他のポジションにあると防水性が保たれませんので、ご注意ください。

末永く安全にご使用していただくために

<アレルギーなど>

金属バンド革バンドともに、皮膚の弱い方、アレルギー体質の方はかぶれたりすることがあります。また、バンドの汚れや湿りをそのまま放置すると、かぶれなどの原因になることがあります。万一かぶれた時には、その時計の使用を一時中止し、すみやかに皮膚専門医へご相談ください。

<お手入れ>

- 錆びにくいステンレススチールも汚れが付着したままでは錆が発生することがあります。普段から柔らかい布で拭いたり、こまめなお手入れをおすすめします。
- 金属バンドは、時々部分洗いをすることをおすすめします。ベルトに付着した汚れは、石鹸などを付けたブラシで軽く部分洗いでから、乾いた布で完全に拭き取ってください。
- 時計のバンドは通気性を良くするため、腕に緩みをもって着け、汗や汚れは乾いた布ですぐに拭き取ってください。
- 故障の原因になりますので、水洗いはしないでください。また、極端に曲げたり、摩擦を避け、有機溶剤などに近づけないでください。

<長期間ご使用にならない場合>

柔らかい布で表面の汚れをよく拭き取り、高温多湿になる場所を避けて保管してください。

<その他>

- 分解
時計本体、及びバンドをご自分で分解しないでください。ご自分で分解されたことによる故障や部品の紛失などについての責任は負いかねます。
- 磁気
携帯電話やパソコンなど、強い磁気が発生する可能性のあるものの近くに時計を置かないでください。磁気を帯びることによって時計の精度に狂いが生じます。
- 衝撃
ゴルフや野球などのスポーツ、床面に落とすなど、時計に強い衝撃が加わると、止まり・遅れをはじめとする故障・損傷の原因になりますので、ご注意ください。
- 温度・湿度
直射日光が当たる場所や高温多湿になる場所、寒冷地、その他極端な気象条件下での長時間のご使用、放置は故障の原因になりますので避けてください。
- 化学薬品・有機ガス
水銀や化学薬品(ガンソリン、シンナー、各種溶剤、またはそれらを含有するクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)の付着、有機ガスの中での使用により、時計本体やバンドなどに変色や破損が生じることがあります。
- 管理・保管
高温下(約60℃以上)で放置・保管しないように充分ご注意ください。高温下に長時間放置すると、故障の原因になります。長時間ご使用されない時は、柔らかい布で表面の汚れを良く拭き取り、高温多湿の場所を避けて保管してください。